

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	救命病棟における身体抑制の現状分析と抑制開始・解除判断フローチャートの改訂		
2. 対象患者	当院の救命病棟(高度救命救急センター)に入室する20歳以上の患者様		
3. 対象となる期間	2019年 7 月 1 日～ 2021 年 10月 31 日		
4. 実施診療科等	高度救命救急センター		
5. 研究責任者	氏名	加藤 恵	所属 看護部
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	ありません		
7. 研究の意義	救命救急センターに入室される患者様には、生命維持のための処置が多く行われており、意識障害や痛みや環境の変化などから不穏やせん妄を呈する方も多く、安全確保、危険防止のために行動制限をさせて頂く場合があります。これまで行動制限の開始は現況のフローチャートをもとに看護師の判断にゆだねられていましたが、安全確保の目的での行動制限を最小限にするためには、現在の実施状況を把握する必要があります。高度救命救急センターに勤務する看護師が、どのような状態の患者様に行動制限を開始、解除しているのかを明らかにするために、本研究を行うこととしています。		
8. 研究の目的	①救命病棟看護師が、フローチャート以外で何を参考にどのように患者の状態をアセスメント(評価・判断)し患者に身体抑制を開始・解除しているのかを明らかにする。 ②患者様のアセスメントと身体抑制の開始・解除のポイントを明らかにし身体抑制開始・解除判断フローチャートの改訂につなげる。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	高度救命救急センター救命病棟病に入室した患者様の診療録、看護記録から情報収集する基本的な内容は年齢、現疾患、意識状態、鎮静薬や生命維持装置の使用状況などです。氏名はデータとして保存せずナンバリングします。疼痛に関しては、Critical-care-Pain Observation tool (CPOP)におけるせん妄評価(CAM-ICU)、不穏に関しては鎮静スケールRichmond-Agitation-Scale(RASS)の経過記録を用います。また抑制開始・解除の日時、看護師のアセスメントに関する情報を経過記録から情報収集します。身体抑制開始時および解除時の看護記録をテキストマイニング分析により、判断基準となる観察項目や要素をピックアップします。開始時の体温や血圧や脈拍数など、治療、鎮痛薬、鎮静薬、意識状態などについても単純集計し、傾向を分析します。		
10. 個人情報の保護	収集する情報には個人を特定できる情報は含みません。対応表は、研究代表者の責任において厳重に管理します。対象者の方より拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外しデータを削除いたします。ただし、すでに研究結果公表済みの場合はデータを修正することはできませんのでご了承ください。		
11. 利益相反に関する状況	研究責任者、共同責任者に個人的な資金等の提供等が行なわれることなく、公正に実施され、利害の衝突も生じることもありません。		
12. 連絡先	看護部 看護師 加藤 恵		
	電話	0172-39-5315	FAX — —